

第6波に備えてワクチン接種の一層の推進を

現在のところ全国のコロナ感染者の新規感染者数は劇的に減少し、新規感染者数はだいぶ抑えられている状況である。

これはひとえに国民へのワクチン接種が一気に進んだためであると考えられる。

しかしながら、今後気温が下がる冬にかけて感染の第6波は必ず到来すると感染症の専門家は警鐘を鳴らしている。

本町のワクチン接種も一定程度進んだ結果、新規の感染者数は低く抑えられているものの、ワクチン未接種の若年層を中心に新規感染者が確認されており油断は出来ない。

そこで、以下の点について町の見解を伺いたい。

- 1 本町の12才以上64才以下のワクチン接種率は平均で7割を超えているが、各年代ごとのワクチン接種率は。
- 2 足柄上郡5町共同でワクチン接種を進めた広域連携について、どう総括しているか。
- 3 今後3回目の接種と5才から11才の子供達への接種が開始した場合の対応は。